

Prefecture, Japan (Coleoptera). Akitu, Kyoto, 10 (1/2): 4-6.  
 大川秀雄, 2010. 足利市と佐野市のヒメドロムシ. インセクト,  
 61 (2): 109-112.  
 旅のとも Zen Tech. 1997-2010. 新潟県 白地図 (2012年7  
 月8日参照). [http://www.2m.biglobe.ne.jp/%257EZenTech/  
 japan/map/nigata.htm](http://www.2m.biglobe.ne.jp/%257EZenTech/japan/map/nigata.htm)  
 栃木県, 2003. 栃木県自然環境基礎調査 とちぎの昆虫 II.  
 557 pp.

吉富博之・白金晶子・疋田直之, 1999. 矢作川水系のヒメド  
 ロムシ. 矢作川研究, (3): 95-116.  
 吉富博之・疋田直之・佐藤正孝, 2002. アカツヤドロムシの  
 分布とその生息環境 レッドデータ水生甲虫類の分布記  
 録 2. 甲虫ニュース, (140): 9-11.

(2012年8月18日受領, 2012年9月13日受理)

### 【短報】ヒメドロムシ科の飛翔に関する知見

ヒメドロムシ科の成虫は、一般に正常な後翅があり、その多くは飛翔能力を持っていることが予想される。一部の種は灯火へ飛来することが知られており、筆者の島根県での調査でも、イブシアシナガドロムシ *Stenelmis nipponica* Nomura, 1958, アシナガミゾドロムシ *Stenelmis vulgaris* Nomura, 1958, キスジミゾドロムシ *Ordobrevia foveicollis* (Schönfeldt, 1888), キベリナガアシドロムシ *Grouvellinus marginatus* (Kôno, 1934), アワツヤドロムシ *Zaitzevia awana* (Kôno, 1934) は特に飛翔する傾向が強く、アヤスジミゾドロムシ *Graphelmis shirahatai* (Nomura, 1958) も飛来を確認したことがある (林, 2011 ほか)。一方、上流域に生息する種については、灯火への飛来例は少なく、実際の飛翔を確認された種は少ない。藤本 (2010) はフライト・インターセプション・トラップで採集されたアカモンミゾドロムシ *Ordobrevia maculata* (Nomura, 1957) を報告している。筆者は上流域に生息する3種の飛翔に関する知見を得たので報告する。

#### 1. ツヤナガアシドロムシ *Grouvellinus nitidus* Nomura, 1963

1ex., 群馬県箕郷町榛名山南麓 車川沿いの道路  
 上, 3.VIII.2012, 筆者採集。

午後4時頃、岩に付いた地衣類を眺めていたと  
 ころ、突然、昆虫が耳に飛び込んで来た。指でつまみ出すと本種であった。耳の向きから、下流側から上流側の向きで飛翔していたと考えられる。成虫の腹面には赤みが残っており、新成虫である。

#### 2. セアカヒメドロムシ *Optioservus maculatus* Nomura, 1958

1ex., 鳥取県江府町大平原木谷沢, 19.VIII.2010,  
 Lt, H. Kadowaki leg.

採集者の門脇氏によれば、灯火に飛来したとの  
 ことだった。得られたのは1頭のみである。

#### 3. スネアカヒメドロムシ近似種 (未記載種)

#### *Optioservus* sp.

1ex., 鳥取県大山町横手橋, 25.V.-9.VI.2009, FIT, H.  
 Kadowaki leg.

門脇久志氏より託されたフライト・インターセ  
 プション・トラップの採集品をソーティングして  
 いたところ、本種が1個体捕獲されていた。実際  
 に飛翔の場面を確認したわけではないが、本種が  
 飛翔する可能性が高いことを示している。

文末ではあるが、標本を提供していただいた門  
 脇久志氏、ヒメドロムシ科の飛翔例についてご教  
 示頂いた上手雄貴・中島淳の両博士にお礼申し上  
 げる。

#### 引用文献

藤本博文, 2010. アカモンミゾドロムシをフライト・インター  
 セプション・トラップで採集. 甲虫ニュース, (169): 8.  
 林 成多, 2011. 島根県の水生甲虫. ホシザキグリーン財団  
 研究報告特別号, (1): 1-117.

(林 成多 ホシザキグリーン財団)

#### 【訂正】「石川県未記録の水生甲虫7種の採集記 録」の訂正

筆者は甲虫ニュース 171 号 9～10 頁 (2010 年)  
 に「石川県未記録の水生甲虫 7 種の採集記録」を  
 報告したが、同定間違いが判明したので、訂正する。

報告内の 9 頁 左段 18～19 行目の, “2.  
*Ochthebius nakanei* Matsui ナカネダルマガムシ”  
 は, “ハセガワダルマガムシ *Ochthebius hasegawai*  
 Nakane et Matsui” の誤同定であり, ナカネダルマ  
 ガムシは石川県未記録のままである。ご指摘をいた  
 だき, 詳細な同定ポイントについて御教授いただ  
 いた愛媛大学ミュージアムの吉富博之博士に厚く  
 御礼を申し上げるとともに, 誤った報告をしたこ  
 とを深くお詫び申し上げます。

(渡部晃平 701-1153 岡山市北区富原 2900  
 パーティアム津高 205 号室)